

「地区毎の意見を聴く会」の意見

	意見	回答	提言書への反映
築堤整備全体に対する意見	S61.8.5 洪水と同じ怖い思いはしたくない。水量は増えており、是非実施して欲しい。〔中央公民館〕	・ 河川整備計画にもとづき、早期の治水対策実施を目指します。	
	<u>実施のためには国だけではなく、地元の熱意も必要である。</u> 〔中央公民館〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P4-1 事業の進め方（住民参加や関係機関の連携による事業により実施）
	<u>孫子の代（将来）を見据えて、良い整備をして欲しい。</u> 〔中央公民館〕	・ 懇談会における検討の参考とさせていただきます。	提言書「はじめに」
	予算もあると思うので、一番お金がかからないで良い方法で整備して欲しい。〔北町コミュニティセンター〕	・ 整備に当たってはコストの縮減にも十分配慮していきます。	
	<u>30年の整備計画の中で、どの程度の優先順位か。早く整備して欲しい。</u> 〔1区集会所〕	・ 今後概ね30年間の河川整備計画の中で、なるべく早い段階で本宮地区の整備を進めていきたいと考えています。	
	30年経ったら我々はどうなるのか。早く整備して欲しい。〔中央公民館〕	・ 今後概ね30年間の河川整備計画の中で、なるべく早い段階で本宮地区の整備を進めていきたいと考えています。	
	<u>早い段階で決めてもらわないと、建て替え、新築の判断が出来ない。</u> 〔中央公民館〕	・ 地域の意見を踏まえた懇談会の提言を受け、なるべく早い段階で具体的な整備内容を検討していきます。	
	<u>堤防整備により仲良く暮らしていた住民が離ればなれになる寂しさがある。こういうことも考慮して検討して欲しい。（地域のコミュニティーへの配慮）</u> 〔北町コミュニティセンター〕	・ 懇談会における検討の参考意見とさせていただきます。	P2-12 意見を踏まえた治水対策の方向性（事業実施にあたっての検討・配慮事項）
	<u>堤防にかかる土地の持ち主は出て行くだけである。残った土地を半分だけ買われても困る。</u> 〔北町コミュニティセンター〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-12 意見を踏まえた治水対策の方向性（事業実施にあたっての検討・配慮事項）
治水対策全体	<u>どの地区を見ても3案であると思う。</u> 〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-15 意見を踏まえた治水対策の方向性
	<u>A～Cゾーンの築堤の外観もあり、統一性もある程度考える必要がある。</u> 〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-15 意見を踏まえた治水対策の方向性
	<u>CゾーンとAやBゾーンで対策が異なるのはどうか。AやBゾーンとの統一性・融合があって初めてまちづくりがスタートする。</u> 〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-15 意見を踏まえた治水対策の方向性
Aゾーンに対する意見	<u>Aゾーンについて、堤防整備後に氾濫した場合この地域は2～3mも水に浸かることになるので、地盤を堤防と同じ高さにあげて欲しい。</u> 〔北町コミュニティセンター〕	・ Aゾーンについて、宅盤嵩上げを行うと、現地盤から2～3mの嵩上げが広範囲におよぶほか、県道等の嵩上げや周辺地区との接続等を勘案すると多額の予算と期間および地域住民への負担を要することが想定されるため困難であると考えます。	
	<u>水辺の小楽校について、生物の生息状況や、子供があまり利用しない現状を踏まえるとあまりこだわらなくて良いのではないかと危険ということが先にある。</u> 〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見とさせていただきます。 ・ 懇談会ではまちと川の連続性や親水性を確保できる地区として位置づけており、意見のなかで懸念している現状の利用実態や安全性に十分配慮した計画づくりを検討していきます。	P3-4 治水対策と一体となったまちづくりの方向性（Aゾーン）
Bゾーンに対する意見	Bゾーンは3案が地形からベストと思う。県道との間が狭い所があり、県道側の商店も含めて連動が必要である。〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-13 意見を踏まえた治水対策の方向性
	<u>3-2案になれば将来県道整備で堤防まで平らとなる。予算の関係もあるが、場合によってはC-1まで進んでも良いと思う。</u> 〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-13 意見を踏まえた治水対策の方向性
	市街地の整備も含めて考えざるを得ないと思うが、中條の県道は途中まで整備が止まっている。地域の合意があればこの計画とあわせて県道整備も進むのだろうか。〔中央公民館〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。 ・ 道路管理者の福島県に意見を伝えます。	
Cゾーンに対する意見	<u>鳴瀬地区における上ノ橋の架け替えも考慮する必要がある。（架け替えも踏まえて連続性を考える必要がある）</u> 〔1区集会所〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-15 意見を踏まえた治水対策の方向性（事業実施にあたって検討・配慮すべき事項C-2ゾーン） P3-6 治水対策と一体となったまちづくりの方向性（Cゾーン）
	<u>3-1案について、地盤を上げるのも良いが、全体的に凸凹になるのは良くない。自分の家は川は見えるが隣は見えないということでは感情的にどうか。川沿いの人は川を見るのが癒やしであり、街並みをそろえて欲しい。</u> 〔中央公民館〕	・ 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。	P2-14 意見を踏まえた治水対策の方向性

	意見	回答	提言書への反映
管理用通路、散策路	<u>堤防天端上の道路については、子供の通学路にもなっている。速度制限や柵等の歩行者への配慮が必要。</u> 〔北町コミュニティセンター〕	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。 堤防天端上の道路については、歩行者の安全性に配慮し、歩車道の分離や、ポールによる狭窄部設置等、車両の進入・速度規制について検討します。 	P2-12 意見を踏まえた治水対策の方向性（事業実施にあたっての配慮すべき事項） P3-7 治水対策と一体となったまちづくりの方向性
	通行については、サイクリングロード程度の幅で十分である。トラックの通行の必要は無いのではないか。〔北町コミュニティセンター〕	<ul style="list-style-type: none"> 堤防の天端の幅については、堤防の構造上必要な幅から 6m としております。また、洪水の対応時にはポンプ車等の緊急車両の通行も想定されます。 	
親水性・景観など	流域全体の協力や強いリーダーシップがなければ水は綺麗にならない。水がきれいにならないと子供も近づかない。〔1区集会所〕	<ul style="list-style-type: none"> 阿武隈川の水質改善のためには、流域一体となった取り組みが不可欠であると考えます。 河川整備計画では流域一体となった水質改善等についての取り組みを行うこととしております。 	
	昔は泳げるほど水質が良かった。〔中央公民館〕	<ul style="list-style-type: none"> 阿武隈川の水質改善のためには、流域一体となった取り組みが不可欠であると考えます。 河川整備計画では流域一体となった水質改善等についての取り組みを行うこととしております。 	
その他	河床を掘り下げて、水位を下げることは出来ないのか。〔北町コミュニティセンター〕	<ul style="list-style-type: none"> 本宮地区の河床を掘削する方法も考えられますが、河床を掘り下げることで橋梁の架け替えが必要になることなどから困難であると判断しました。 	
	<u>築堤よりも、山や岩盤の爆破等により河道を掘削し、スムーズに洪水を流すことと遊水地の確保が、効果的ではないか。</u> 〔北町コミュニティセンター〕	<ul style="list-style-type: none"> 計画している規模の洪水が発生した場合を想定した場合、本宮地区の下流部（昭代橋下流）に対しては水位を低下させる効果が期待できますが、その上流区間では水位低下の効果が期待できないと想定されます。 	
	堤防を嵩上げした場合、水の排除する形はどう考えているのか。〔北町コミュニティセンター〕	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。 堤防の住宅地側の湛水（内水）については、下水道整備や必要に応じて排水ポンプの設置等を、国と市と連携して検討していきます。 	P3-2 治水対策と一体となったまちづくりの方向性（下水道（雨水排水施設）の整備）
	支川の増水に対する対策はどうなっているのか。〔1区集会所〕	<ul style="list-style-type: none"> 百日川や安達太良川については、本川である阿武隈川の計画の堤防高で既に整備済みです。 	
	<u>左岸の堤防は街としてどのような位置づけになっているのか。住民にとって堤防道路はどのような価値観を持っているのか。</u> 〔1区集会所〕	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。 	P3-2 治水対策と一体となったまちづくりの方向性（本宮左岸地区のまちづくりの整備構想）
	高木側は堤防が高く、市街地側は堤防が低い状態となっており、心配である。〔中央公民館〕	<ul style="list-style-type: none"> 今後 30 年間の河川整備計画の中で、なるべく早い段階で本宮地区の整備を進めていきたいと考えています。 	
	<u>護岸前の水際にある土砂（残土）は撤去するはずだったので撤去して欲しい。</u> 〔中央公民館〕	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の検討における参考意見にさせていただきます。 B から C-1 ゾーンの護岸前の土砂については、懇談会提言の水辺利用を考慮しつつ撤去するように努めます。 	P3-5 治水対策と一体となったまちづくりの方向性（水際の散策路）

意見については端的にとりまとめています。アンダーラインの意見は、資料-1の「地区毎の意見を聴く会」の主な意見に概要を記載しています。